



とびだせ自然へ



『チムとゆうかなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ／さく せた ていじ／やく
福音館書店 2001年 (E アオ ア)

船乗りになりたいチムは航海に出る船にこっそり乗りこみます。船長に見つかり航海のお手伝いをすることになりますが…。海の過酷さをのりこえて少しづつ成長していくチムは立派な船乗りになれるでしょうか？



『はじめてのキャンプ』

林 明子／さく・え
福音館書店 1984年 (K 913 ハ)



「ちっちゃい子はダメ！」と言われたけど、どうしても行きたくて、なほちゃんはキャンプについて行きます。はじめて行ったキャンプでの頑張りぶりに、思わず「偉かったね！」とほめてあげたくなります。



『しずくのぼうけん』

マリア・テルリコフスカ／さく うちだ りさこ／やく
ボフダン・ブテンコ／え
福音館書店 1969年 (E アオ ブ)



主人公“しずく”はある白バケツの中から飛び出した。空の上や川の中、姿を変えて冒険していきます。あなたのそばにもホラ“しずく”がいるかもしれません。



ナガキ なつやすみ



『めつきらもつきらどおんどん』

長谷川 摳子／さく ふりや なな／画 福音館書店 1990年 (E アカ フ)
かんたがでたらめな妖文をとなえると急に穴の中にすいこまれました。なんとそこにはへんてこりんな妖怪たちがいて…。躍動感のある絵とスピード感のある物語があなたをお話の中へ引き込みます！



『ターチャンとペリカン』

ドン・フリーマン／さく さいおんじ さちこ／やく
ほるぶ出版 1977年 (E アオ フ)
今年も会えるかな？ターチャンが夏休みに行く海で出会うペリカンのことです。ちょっとユーモラスでほほえましいお話。「ぐわあー！」と開けたペリカンの大きな口にはいっていたものは…。



『はちうえはぼくにまかせて』

ジーン・ジョン／さく マーガレット・ブロイ・グレアム／え もり ひさし／やく
ベンギン社 1981年 (E アオ グ)
トミーは、夏休みに旅行する人はちうえをあずかることにします。でも大変！植物はどんどんのびて家中ジャングルのよう。図書館へ植物の本を調べにゆきますが…。きちんと世話ができるでしょうか？

思い出の一冊

図書館のスタッフが小さいころに読んで
心にのこっている本を順番に紹介します。

『わすれられないおくりもの』
スザン・バーレイ／さく え 小川 仁央／やく 評論社 1986年 (E アオ ヴ)

ある夜、とても慕われていたアナグマがトンネルのむこうへ行ってしまいます。仲間達は悲しみにくれてしまいますが、アナグマが残してくれた“思い出”という贈り物によって笑顔をとりもどす物語です。やさしい色使いの挿絵との共演で、あたたかい気持ちになる物語です。

- 3 -

